



新年度のはじめに

NPO 高知県生涯学習支援センター長 永 國 淳 哉

自己学習の刺激剤

生涯学習とは、しょせん自己学習ということであり、その環境をどう整えるかということになる。

自分で学習環境を作り上げればいいが、日々の生活の中では、それが案外難しい。そこに私どものNPOの存在価値があるのだと思っている。

昨年度好評を得た「高知発、21世紀の食文化」シリーズ公開講座も、あと1期10回の開催。学ぶことの楽しさを味わい、自己学習の意欲を高める刺激剤になりたいと思っている。

ユネスコ提唱から40年

今年は「生涯学習」が、ユネスコによって提唱されて40年の節目である。

ユネスコ本部のポール・ラングランは、IT革命を予見してか、「現代の人間は、学校だけではなく、成長発展に伴って学ぶべき課題を持つ」とし、いくら高学歴で学生時代の成績が良くても、その知識技能は三年で陳腐なものとなり、社会の進歩に追いついていけないと断言した。

インターネット時代を、「コンピュータより手書きが早くて確実」と胸をはっていた友人も、最近は「メカに弱いでは通じん」と、ついに県外の孫の顔見たさにパソコンを買った。

コンピュータ用語に「リテラシー」というのがある。“識字”と訳していた英語である。カタカナ語のオブラートにくるんでいるが、メールを受け取れない、返事が書けないのは「字が読めない、書けない」という時代になった。

国際化時代の幕開け

国際化時代の幕開けも秒読みにはいった。未来学者のアービン・トフラーが「第三の波」と名づけたステージに数年で移行するのである。「海外はバック旅行で、英会話なんて一切不要」といって時代は終わり、高知の地から一歩もでなくても国際語としての実用英語力がなくては生きていけない時代になる。

一例をあげるとホームヘルパーである。政府は30万人の外国人を入国させて対処しないと法的な準備を整えつつある。アメリカの看護師事情を見る限り、皆さんが病院でお世話になる看護師さんも外国人になると考えておいて方がいい。「最初は、日本語のできるヘルパーさん、看護師さんが来るでしょうが、やがて英語しかつかえなくなる」というのが経験国の見方である。

労働力の自由化に出遅れている日本。その中でも高知県は、テレビだけでなく、ラジオも英語放送が聴くことができない地域である。どうも新時代への自己学習意欲がわいてこない環境である。

生涯学習と生涯教育

「生涯学習と、生涯教育とは違う」と、私どもの設立シンポジウム(平成16年5月)で指摘してくれたのは渡辺輝道先生(放送大学高知学習センター長)であった。「学習とは、自ら学ぶことであり、教育とはその社会体制をさす」そうである。

高知県の教育行政は、学校教育、社会教育、家庭教育の三体制である。

高知県の学校教育の問題点は、私立学校志向が中学受験からはじまりことに起因する“塾”の存在である。「夜いくら遅くても子どもは喜んで通塾しているよ」といっても、そんな気にさせた大人が反省すべきである。学校の教科書を、学校外でビジネスで教えることは違法ではないだろうか。そうした問題に触れずに子ども条例ができあがってしまった。放課後は、学令期の子ども達にとって最も大切なコミュニティでの生涯学習時間である。

家庭教育に力点

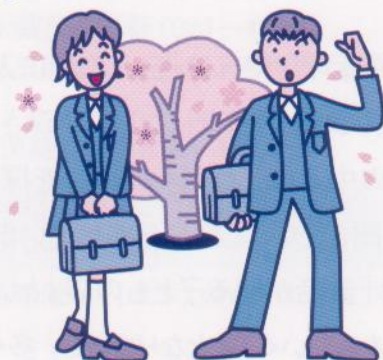
社会教育は、公民館活動を中核に活発であり、日本の生涯学習体制は国際的に評価されている。それだけに、高知県のボランティア指導者養成体制の不備が気がかりである。

家庭教育は、昨年より文部科学省が重点施策として展開を始めている。私どもも、その協議会事務局を引き受け、この好機を高知県の家庭教育の振興にいかしたいと願っている。私ども独自のNPO活動としては、昨年に引き続き不登校問題や“しつけ”などの家庭教育の月例学習会を中心にすえ、進路相談会や“ひきこもり児童”のいる家庭へのメンタルフレンド派遣事業などを計画している。

この「家庭教育アニメータ」の月例会は、高知県教育委員会に登録されている165名の家庭教育サポーターが中心であるが、多くの県民に参加してほしい。高知市だけでなく、須崎市と安芸市でも集会を予定している。

また家庭教育での父親の役割を見直す機会にしてほしいと「おやじの炭焼き教室」を新規に企画している。

ご協力ください。



歴史ガイド研究部会

高知市内の龍馬足跡を楽しく歩きましょう! 「脱藩の道ウオーク」

日時：4月30日(土曜)午前10時～午後1時頃

集合場所：喫茶「さいたにや」〒780-0901 高知市上町3丁目7-4)

歩行経路：上町界限散策ののち神田の和霊神社まで歩きます。

講師：岩崎義郎先生

(土佐観光ガイドボランティア協会常任顧問)

解散予定：和霊神社にて昼食ののち流れ解散

参加費 無料。

その他：各自昼食・飲み物準備のこと。

申し込み：25日までに、088-833-0022まで



「古文書解読の基礎勉強会」

古文書や石碑の文字が読めたらいいな!

日時：5月21日(土曜)10時～正午

場所：喫茶「さいたにや」2階
(〒780-0901 高知市上町3丁目7-4)

講師：岡村庄造先生

講義：古文書の基礎(1)古文書体について

受講料：各回1,000円(テキスト資料代含む)

申し込み：5月13日(日)までに、

088-833-0022まで

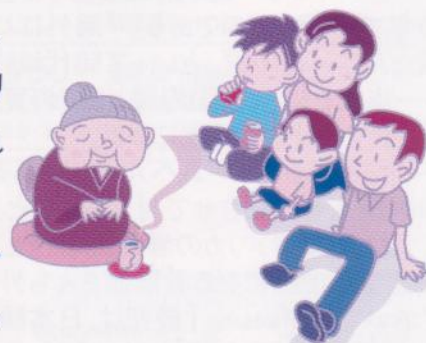


報告 高知昔ばなし研究部会 4月例会開催

高知昔ばなし研究部会の4月例会が4月2日(土)午前10:00～12:00、教育センター分館南棟で開催されました。高知昔ばなし研究やストーリーテリングの練習など1年間の学習の仕方について活発に話し合われました。

代表の楠目和世さんは「自分の型に入れずにおおらかに、愛を持って…そして話をしようと語る昔ばなしの奥深さを皆さんに知ってほしい。今後は、昔ばなしの中から伝わるメッセージを探りながら、民話、伝説なども研究している先生方や外国からの留学生の話も聞きたい」と抱負を述べていました。

今後は「昔話が語る子どもの姿」という小澤俊夫先生のテキストを中心にしながら、それぞれ担当を決めて学習をしていくこととなりました。多くの方々の参加をお待ちしています。



お知らせ 17年度・家庭教育アニメータ月例会

「生涯学習アニメータ学習会」として開催してきました月例会を、17年度からは、「家庭教育アニメータ」と名称を変更。廣瀬典民先生を座長とした月例会の内、4回は一般の方々にも広く呼びかけて「家庭教育アニメータの集い」として高知市だけでなく、須崎市や安芸市での開催を実施します。

月例会は、従来通り基本的に毎月第3水曜日とし、午後1時30分～3時までを、下記のテーマでの学習会。そして3時～3時30分までを家庭教育サポーターの方がアドバイザーとなり、一般参加者の相談に対しアドバイスしていただきたいと計画しております。

また本年度より、参加者の確認をし、その輪を広げたいと思いますので、お手数ですが事前に出席のご連絡ください。

17年度・家庭教育アニメータ月例会予定

4月19日	月例会	子どもの問題行動とカウンセリング
5月18日	月例会	不登校・登校拒否の原因と対策
6月	集 い	須崎地区で開催
7月20日	月例会	ゆとり教育と学力問題
8月17日	集 い	高知市:反抗期をどのように克服するか
9月21日	月例会	教育相談の事例と相談活動の進め方
10月19日	月例会	子どもの生活態度(遊び・学習・マナー等)とその改善策
11月	集 い	安芸地区で開催
12月21日	月例会	家庭教育の問題点(抑圧・放任・過保護・過干渉)
1月18日	月例会	中学浪人・高校中退者等と進路相談
2月15日	集 い	高知市:家庭・学校・地域の連携
3月15日	月例会	月例会の成果、反省点と次年度への課題

月例会開催場所：高知市大原町132 教育センター分館南棟2階 中講義室

参加連絡先：TEL 088-833-0022・088-883-0086・FAX 088-833-0023

Eメール：info@kolec.jp

お知らせ 17年度・メンタルフレンドのお知らせ

登校拒否、不登校や引きこもりの子ども達のほとんどが対人関係を回避していることが文部科学省の調査研究でわかっています。

メンタルフレンドとは、そうした子供たちの遊び相手、話し相手や相談相手となって

子ども達のよき理解者になってあげられる大学生を中心とした青年ボランティアです。

メンタルフレンドの募集と派遣のご依頼を随時受け付けています。

お気軽にご連絡ください。お待ちしております。

メンタルフレンド・ボランティア研修会の予定表

4月30日・5月28日・6月25日・9月24日・10月29日
11月26日・12月17日・1月28日・2月25日・3月25日

基本的に、毎月最終土曜日の午前10時～12時

高知市大原町132番地 教育センター分館 南棟2階中講義室にて研修会を行います。

参加される方は、事前連絡を必ずお願いします。

連絡先 TEL:088-833-0022 FAX:088-833-0023

Eメール:info@kolec.jp

なお、7月・8月は交流会を開催いたします。くわしくは、6月ごろにお知らせいたします。

お知らせ こんにちは! みかんネットかがみ

パソコンの達人やパソコン好きの人が集まって2000年ごろから香我美町で活動を始め、2002年にみかんネットかがみとしてNPO法人として本格的に活動を始めました。

創立当初から、「共に学び教え合う」をモットーに誰もが先生になり、生徒になって気軽に学び合える環境作りに努めています。

今年のみかんネットはシニアの方のパソコン講習に力を入れていきます。

ITの普及率も世代間で格差がみられ、60代以上になると一ケタの使用率にとどまっています。シニアの方にも便利に快適にITを活用していただきたいと考えています。

工科大のサークルの方と協力して、小学生とシニアの方がペアになってIT入門を学ぶ講座を企画しています。小学校の協力を得て、小学校で小学生と地元のシニアの方が1台のパソコンを共有しながらITの初歩を学んでいくというものです。

今や核家族が進み、小学生もおじいちゃん、おばあちゃん世代の方と触れ合うこともなくなり、またお年寄りの方々も地域の小学校に通っている児童を誰ひとりしらないというなんともさびしい世代間の断絶がおこってきています。

パソコン講習はもとより、小学生とシニアの方が、たのしく交流出来ることを願っています。

パソコンというと、なんだかめんどくさい、難しそうと尻込みする方もいますが、慣れれば簡単、すぐ使いこなせるようになります。

自宅にいながらショッピングが出来るインターネットショッピング、インターネットで対戦できる囲碁や将棋、WEBカメラによるセキュリティチェック、また、大きな病院ではオンライン予約が導入されて、もう病院の待合室で何時間も待つということから開放されます。このようにシニアの方にこそパソコンを活用してほしいですね。

春です。パソコンに限らずなにか新しいことにチャレンジしてみませんか?

語学、陶芸、ピアノ、舞踊、ボランティア活動など。ここ生涯学習センターでも歴史ガイド指導者養成講座が始まります。

新しいことを始めるときは最初の一步をふみだすまでが勇気が要ります。

案ずるより生むが易しという諺もあるようにやってみれば案外簡単だったということもあります。最初の一步をふみだしてみませんか?

みなさんのまわりでもなにか新しいことにチャレンジしようという方がいたら背中を押してあげてください。

高知県視聴覚ライブラリーを利用してください!!



学校・社会教育施設及び各種団体に対して無料で視聴覚教材と機材を貸し出しています。教材(VHS・16ミリフィルム等)は1回5本まで1週間の利用が

出来ます。機材(プロジェクター・スクリーン等)は3日間の利用が出来ます。直接借りに来られない方には教材のみ有料で発送もしています。教材のリストは、インターネットでご覧になれます。

<http://www.pref.kochi.jp/syakai/shohgai/library/tr ee.htm>

電話での予約受付もしています。

新人荷ビデオのお知らせ

字の無いはがき
僕は、あの日を忘れない。
小さな叫び
夜回り先生
天皇陛下 古希をお迎えになって
広がる未来!私が選ぶ
仕事ライブラリー
コンピューターシリーズ(全5巻)
ファッションシリーズ(全5巻)
食べ物シリーズ(全5巻)

機材一覧

16ミリ映写機(3台)・OHP(2台)
回転式スライド映写機(1台)
スクリーン 180cm・200cm(各1本)
ビデオ内蔵プロジェクター(1台)
ビデオプロジェクター(1台)
パソコン対応プロジェクター(1台)
8ミリビデオカメラ(1台)
デジタルビデオカメラ(1台)
VHSビデオデッキ(1台)
DVDプレイヤー(1台)
延長コード(1本)
RGB延長ケーブル 10m(1本)

高知県視聴覚ライブラリー 管理:NPO高知県生涯学習支援センター
〒780-8031 高知市大原町132番地 教育センター分館 南棟 2階
TEL:088-833-0022 FAX:088-833-0023

発行 2005年4月11日
NPO高知県生涯学習支援センター(KOLEC)
〒780-8031
高知市大原町132番地(教育センター分館内)
電話 088-833-0022 FAX 088-833-0023
KOLEC 電話進路相談の電話 088-833-0086
電子メール info@kolec.jp
URL <http://www.kolec.jp>
発行人 理事長 山本晋平
編集 NPO KOLEC編集室/印刷 中島出版印刷

